

兵庫県中学校総合体育大会テニス競技（個人戦）について【重要】

平成30年度の県総体より、参加資格が変更になっています。間違いのないようにエントリーしてください。

- (1) 神戸市以外（但馬、西播、中播、東播、阪神、丹有、淡路）の市郡にある中学校の選手
今までと同様、県中テ連主催の夏季テニス大会で上位に入った選手が県総体にエントリーできる。
- (2) 神戸市内（神戸地区）にある中学校の選手
神戸市中学校総合体育大会テニス競技で、上位に入った選手が県総体にエントリーできる。
よって、県中テ連主催の夏季テニス大会にはエントリーできない。
- (3) 上記（1）（2）のいずれの選手も、上位大会に出場する意思のないものは出場できない。
県夏季テニス大会・神戸市総体・県総体は、すべて近畿総体の予選を兼ねている大会である。
- (4) 県総体への出場枠（数・組）について
 - ① 県総体は、男女ともシングルス32ドロー、ダブルス16ドローのトーナメントである。
 - ② シングルス
5月の兵庫県中学生テニス選手権大会（全中個人兵庫県予選）において、Best32に入った選手の所属地区の数を基準とする（Best32に入った個々の選手ではない）。
神戸地区以外の選手数（a）を夏季テニス大会から県総体への出場数とし、
神戸地区の選手数（32－a）を神戸市総体から県総体への出場数とする。
 - ③ ダブルス
5月の兵庫県中学生テニス選手権大会（全中個人兵庫県予選）において、Best16に入った選手の所属地区の数を基準とする（Best16に入った個々の選手ではない）。
神戸地区以外の選手数（a）を夏季テニス大会から県総体への出場数とし、
神戸地区の選手数（16－a）を神戸市総体から県総体への出場数とする。
- (5) シードについて
県総体のシード委員会は、夏季テニス大会・神戸市総体を通過した選手が確定した後、県総体抽選会の日に行う。